

Ⅶ 学生支援

1 指導教員制度

本学教員の役割は、教育・研究のほか履修、学習への指導・助言、課外活動ならびに学生生活全般に対する指導・助言などがあり、本学では開学以来指導教員制度を設けている。

各クラスに原則として専任の指導教員をおき、学生に対して次の役割を果たす。

- ① 履修計画及び履修方法についての指導・助言
- ② 進路についての指導・助言
- ③ 学費延納、休学、復学及び退学等の願書に対する指導・助言及び保証人等への連絡
- ④ 各種変更届及び各種手続きについての指導・助言
- ⑤ 各種奨学金についての指導・助言
- ⑥ その他学修上についての指導・助言

なお、入学時から卒業時まで同じ指導教員が学生の指導にあたることを原則としている。

2014 年度の指導教員は以下の通りである。

学 年	クラス	指 導 教 員
1 学年 (14KF 生)	I クラス	新村 直子 (准教授)、萱嶋 美子 (講師)
	II クラス	久保 典子 (准教授)、後藤 雪絵 (講師)
2 学年 (13KF 生)	I クラス	淵田 明子 (准教授)、坂本 優子 (助教)
	II クラス	吉野 由美子 (准教授)、飯室 淳子 (講師)
3 学年 (12KF 生)	I クラス	小川 景子 (准教授)、蔵本 文乃 (講師)
	II クラス	丹澤 洋子 (准教授)、木村 節子 (講師)

2 健康推進室

1) 位置づけ・役割

健康推進室は、学生が自ら心と身体の健康を保持、増進し、楽しい学生生活を過ごせるように側面から支援する施設である。役割としては、①学校保健安全法で定められている定期健康診断の実施及びその後のフォロー、②健康相談及び指導、③健康教育、④応急処置、⑤学校行事での救護、⑥小児期感染症の抗体の有無を把握し、ワクチン接種及び血液検査による抗体確認の推奨、⑦B型肝炎予防ワクチンの接種、⑧各クラスの保健委員を指導し、健康意識の向上を目指して活動すると共に、学生の飛鳥祭での健康教育のサポート、⑨湘南健康推進会議へ参加し、湘南健康推進センターの拠点校として情報共有及び問題解決能力向上のための研修に参加。さらに 2012 年度に、学校法人東海大学、災害発生時における初動対応マニュアル（医療技術短期大学用）が作成され、⑩健康推進室長の役割として（救護所の設営、負傷者及び病人の応急処置、救護物資の管理、記録集約）が明記されたことにより、救護物品の整備および防寒シート・簡易トイレなどを揃えている。

健康推進室の担当は、看護学科の教員 2 名が兼務しているため、講義や実習で不在のこともある。そこで、日常的に学内の他の教職員と連携、協力し、また、隣接している東海大学湘南健康推進室とも緊密に連携しながら業務を遂行している。

構 成 員	
室 長	新村 直子 (准教授)
室 員	端山 淳子 (助教)

2) 活動目標

学生が自ら心と身体を健康を保持、増進し、楽しい学生生活を過ごせるように側面から支援する。

3) 活動概要

定期健康診断は2014年度から東海大学湘南健康推進室と合同で、健康診断専門業者へ依頼し行うようになった。東海大学の健康診断の期間が4月9日～21日であったため、2週間のうちの土曜日（12日・19日）に分かれて受診した。尿検査では「要再検」の伝達を受けていない学生がいたが、業者からの健診結果の提示後に校内で対応した。感染症対策に関しては、ガイダンスで小児期感染症・B型肝炎のワクチンの必要性及び季節性インフルエンザの症状と対処について指導を行った。インフルエンザに関しては、流行時期が例年より早まり、統合実習中の学生が発症した。流行の兆しを注視し、早期にワクチン接種を促すなどの対応が必要であった。B型肝炎ワクチン接種は、抗体のない2年生に対し実施した。

2007年4月からの構内禁煙に伴い、これまで保健委員会とサポート学生で、11月の飛鷗祭に企画を発表してきた。2012年度から、学生会企画としても健康教育企画を位置づけ、これまでのミニ健康診断に加えて「防煙教育」を位置づけて取り組んだ。この教育は学生会の企画であるが、保健委員会が中核となり、サポート学生の協力のもと掲示の発表、「やにけん」などを実施し好評だった。

飛鷗祭の医療短大の校舎での企画においても『防煙教育』として「妊産婦の喫煙の影響について」、『子宮頸がんの予防』として「子宮頸がんの知識と予防ワクチン接種」について発表を行い、好評だった。

表1 2014年度年間業務内容

月	日	活 動 内 容
4	1	新入生オリエンテーション（入学式）のための救護待機
	2	前期ガイダンス 新入生対象に健康管理についてオリエンテーション（定期健康診断、禁煙教育、他）
	4	前期ガイダンス 2・3年生対象に健康管理についてオリエンテーション（健康推進室の役割、定期健康診断、禁煙教育、他）
	7	3年生 便検査（老年看護学実習施設提出用）の説明
	11	3年生対象の老人看護実習の検便検査の提出（赤痢菌、サルモネラ、病原大腸菌、MRSA, 0-157）
	12	定期健康診断（湘南健康推進室にて）
	15	保健委員会（委員長・副委員長の決定、健康診断について）
	16	教授会で2013年度の健康推進室の利用状況、2013年度の学生生活支援調査の結果を報告
	19	定期健康診断（湘南健康推進室にて）
	21	湘南健康推進室にB型肝炎ワクチン接種に関する依頼文書を提出
	23	B型肝炎ワクチン接種に関する説明（掲示と口頭説明、申し込み書配布）
	28	健康推進室期限切れ薬品等の処分と補充
	30	第1回目検尿再検査
5	7	第2回目検尿再検査
	8	3年生に便細菌検査結果返却
		第1回B型肝炎ワクチンの説明と予診表配布
	13	第1回B型肝炎ワクチン接種
16	第1回B型肝炎ワクチン接種（臨時）	

6	4	第2回B型肝炎ワクチンの説明と予診表配布
		第3回目検尿再検査
	10	第2回B型肝炎ワクチン接種
	13	第2回B型肝炎ワクチン接種（臨時）
	6~24	1年生の面接指導：既往歴がある学生、ツ反強陽性、ツ反陰性の学生、心理面サポートが必要な学生等の学生に対する面接
7	28	湘南健康推進室と健康診断の振り返りの会議に出席
	3	1年生へ健康診断結果個人票返却
	4	2年生へ健康診断結果個人票返却
8	22	心理面サポートが必要な学生等の学生に対する面接と紹介状の記載
	8	3年生へ健康診断結果個人票返却
9	8	健康推進室整備（夏用掛け物等への交換）
	15	デンマーク看護研修に向けて依頼物品の準備
	3	後期ガイダンス 1・3年生対象に健康管理についてオリエンテーション 医療従事者に必要なワクチンについて
	4	東海大学短期大学（部）スポーツ大会救護
	9	健康推進センター拠点校会議に出席（発表）
10	10	後期ガイダンス 2年生対象に健康管理についてオリエンテーション 医療従事者に必要なワクチンについて
	30	心理面サポートが必要な学生等の学生に対する面接と紹介状の記載
10	15-30	飛鷗祭にて保健委員が作成する「禁煙・防煙」「子宮がん予防」に関する展示・「やにけん」「禁煙のアロマ」の支援
11	1~3	飛鷗祭にて保健委員が中心となり「禁煙・防煙」「子宮がん予防」に関する展示・「やにけん」のコーナーを開催
	9	第3回B型肝炎ワクチンの説明と予診表配布
	14	第3回B型肝炎ワクチン接種
	15	推薦入試のため救護準備
	21	第3回B型肝炎ワクチン接種（臨時）
12	5	第44回学校法人東海大学健康推進会議出席
	10	統合実習中 インフルエンザ発生に伴う対応
1	31	一般入試のため救護準備
2	12	小児期感染症抗体獲得に向けたお知らせ（1・2年生へ一斉メール）
	17	4月の健康診断について湘南健康推進室との打ち合わせ 健康診断の依頼文書発送
	20	付属推薦入学者の支援報告書が送付される。支援の必要な学生の把握を行う。
3	3	健康診断に向けて健診業者（京浜保健衛生協会）と打ち合わせ
	13	便検査に向けて昭和メディカルサイエンスと打ち合わせ、検体容器の受け取り
	14	健康診断に向けて健診業者（京浜保健衛生協会）と打ち合わせ
	16	医薬品在庫調査・医薬品廃棄
	23	健康推進室の清掃・リネン交換・クリーニング提出と受け取り
	25	卒業式の救護のため待機
	23-28	入学予定者からの小児期感染症・ツベルクリン反応に関する質問への対応
	29	2015年度入学予定者・保護者へのガイダンス
30	健康推進室の年報作成	

4) 定期健康診断について

学校保健安全法に基づく定期健康診断を 2014 年 4 月 12 日（土）および 4 月 19 日（土）に東海大学湘南健康推進室で実施した。検査項目は全学年対象に身長、体重、尿検査、血圧測定を行ない、胸部エックス線検査は、1 年生全員と 2、3 年生のうち入学時にツベルクリン反応が、陰性と強陽性の学生を対象に実施した。なお、3 年生に対しては、視力検査も行っている。老年看護学実習施設からの依頼により、検便も併せて実施している。各学年とも受診率は 100%であった。

5) 評価・改善

定期健康診断は 2014 年度から東海大学湘南健康推進室と合同で、健康診断専門業者へ依頼し行うようになった。尿の再検査を提出しない学生がいたが、これは、東海大学の学生と事後対応が違うため混乱したと考えられる。次年度は学生に一層の注意を促す必要がある。

インフルエンザの対応に関しては、流行時期が例年より早まり、統合実習中の学生が発症した。流行の兆しを注視し早めの対応が必要である。

学園祭での保健委員の活動は学生会と協力し取り組んだ。学生は保健委員会のブースに大勢の来学者が訪れるよう工夫し、「子宮頸がん予防」と「防煙教育」を行い、好評だった。次年度も学生がアイデアをだした運営ができるよう学生を支援していく。

3 奨学金

1) 各種奨学金

本学では、経済的な援助を必要とする学生のために、本学独自の奨学金制度（東海大学医療技術短期大学奨学金）をはじめ、母里知之学生支援資金奨学金、医療技術短期大学望星奨学金、神奈川県看護師等修学資金、日本学生支援機構奨学金を取り扱っている。

(1) 東海大学医療技術短期大学奨学金（給付）

目 的	学園の建学の精神を体得し、将来世界文化の創造発展に寄与する有為な人材の育成に資すること。
資格・条件	年度末終了時の成績優秀な者。1 年は前期成績優秀者。
給 付 額	年額 300,000 円（1 年のみ 後期 150,000 円）

(2) 東海大学医療技術短期大学母里知之学生支援資金奨学金（貸与）

目 的	学園の建学の精神を体得し、将来看護学（医療）及び関連領域の創造発展に寄与する有為な人材を育成するために、奨学金の貸与及びその他学生の支援をすること。
資格・条件	① 学業成績、人物ともに良好で、経済的理由により学修が困難な 3 年生。 ② 卒業の翌年度に、東海大学医学部付属 4 病院のいずれかに看護職員として就職を希望する 3 年生。
貸 与 額	3 年次の前期又は後期で、540,000 円を限度とする。
そ の 他	卒業直後、東海大学の看護職員として採用され、1 年 6 ヶ月在職した場合、返還が免除となる。

(3) 医療技術短期大学望星奨学金（貸与）

目 的	学園の建学の精神に立脚した優秀な看護職員の養成に寄与すること。
資格・条件	東海大学医療技術短期大学に在籍し、健康にして、学業・人物共に優れ、経済的支援の必要ある者。
貸 与 額	月額 30,000 円。年 2 回、6 ヶ月分 180,000 円ずつ銀行振込。
そ の 他	卒業後、東海大学の看護職員として採用され、奨学金の貸与期間と同じ期間在職した場合、返還が免除となる。

(4) 神奈川県看護師等修学資金（貸与）

目 的	将来神奈川県内において、看護師の業務に従事する有能な人材を育成すること。
資格・条件	神奈川県内の看護師養成施設に在学し、成績が優れ、卒業後県内で看護師として従事する意思がある者。 特例貸付は上記に加え、住民税が非課税の世帯もしくは住民税が均等割のみの世帯の者。
貸 与 額	一般 月額 20,000 円。四半期毎 60,000 円ずつまとめて銀行振込。 特例貸付 月額 40,000 円。初回追加金 100,000 円。（希望者のみ）
そ の 他	貸与期間にかかわらず、卒業直後から神奈川県で定める看護職員として、5年間または3年間（返還免除対象施設により異なる）従事した場合返還が免除となる。

(5) 日本学生支援機構奨学金（貸与）

目 的	優れた学生生徒で経済的理由により修学に困難がある者に対し、学資の貸与等を行うことにより、国家及び社会に有為な人材の育成とともに、教育の機会均等に寄与すること。
資格・条件	人物・学業共に優れ、かつ健康であって、経済的理由により修学困難な者。 第一種、第二種ともに成績の基準あり。
貸 与 額	第一種（無利子） 月額 自宅 30,000 円、53,000 円から選択。 自宅外 30,000 円、60,000 円から選択。 第二種（有利子） 月額 30,000 円、50,000 円、80,000 円、100,000 円、120,000 円のいずれか選択。

2) 受給者状況

奨学金の種類	1年	2年	3年	計
東海大学医療技術短期大学奨学金	2	2	2	6
東海大学医療技術短期大学母里知之学生支援資金奨学金	—	—	1	1
医療技術短期大学望星奨学金	81	77	79	237
神奈川県看護師等修学資金	6	5	7	18
日本学生支援機構奨学金	24	31	25	80

4 その他

1) ハラスメント防止について

大学を構成するすべての学生や教職員は、個人としての尊厳を傷つけられることなく、勉学や課外活動、そして、教育・研究に精励できる環境を作り、これを維持していかなくてはならず、本学において、ハラスメントと見なされる行為が、そのまま黙認されたり見過ごされることがあってはならない。

そのため、本学では東海大学医療技術短期大学ハラスメント防止人権委員会を設け、大学全体でハラスメント防止に取り組んでいる。

2) モバイルサイトの利用

本学では、受験生・在学生を対象にモバイルサイトを立ち上げ情報提供を行っている。受験生向けには、入試情報・オープンキャンパスなどの情報を掲載している。また、在学生には、本学の行事予定・授業・試験関係・奨学金関係・国家試験関係など最新の情報を掲載し、情報入手の支援を行っている。

3) 東海大学のコンピュータの利用

東海大学総合情報センターのコンピュータ施設には、各種サーバなど大型のコンピュータからパソコンまで、多数のコンピュータが用意されている。所定の手続きをすることにより利用できる。

4) 東海大学付属図書館の利用

本学の学生は、東海大学の全キャンパスの図書館を利用することができる。受けられるサービスの内容や利用時間帯、休館日等は各館によって異なるため、ホームページ等で確認してから利用するように案内している。

5) 学生相談窓口、学生生活支援室（CLIC）の利用

東海大学湘南健康推進室の学生相談窓口は、学園内の専門機関として、困った時の相談や、自分を理解し向上させるための支援など、学生生活すべてにわたる援助活動を行っている。

東海大学学生支援課（CLIC）は、学生生活をサポートする総合相談・案内窓口である。相談員が親身になって学生からの相談に応じたり、相談の内容によっては、専門の部門・スタッフへの紹介も行っている。

6) 購買・食堂・書店の利用

隣接する東海大学内には「栄養・休養・教養」を賄うアメニティプラザ BaB をはじめ、教科書、専門書、一般書、文庫、辞書、雑誌など約 9 万冊を販売する紀伊國屋書店東海大学ブックセンターがあり、学生割引で利用できる。

7) スポーツ教育センターの利用

東海大学スポーツ教育センターでは、大学スポーツの情報提供や学生・教職員向けにスポーツ施設の開放、スポーツ用具の貸出しを行っている。スポーツ活動・健康増進、学生・教職員との交流の場として積極的に活用されている。

8) 利用できる宿泊施設

学生ならびに教職員の融和を保ち、かつ学生教科外活動の一端として、学生生活を豊かにするため、次の施設が利用されている。

◇山中湖セミナーハウス

富士山を背景にカラマツ林の中であり 96 年 4 月にオープンした宿泊施設。

(所在地：山梨県南都留郡山中湖村山中 323-1)

◇嬭恋高原研修センター

各施設も充実しており、テニス・ハイキング・スキーなど色々なスポーツを楽しむことが可能である。

(所在地：群馬県吾妻郡妻恋村大字干俣 2401)

◇三保研修館

景勝の地、三保半島の先端にある社会教育センターの施設内の宿泊施設。

(所在地：静岡県清水市三保 2438)

◇銀嶺荘

春香山の標高 700m の地点に位置し、広大な石狩湾を展望することが可能。

(所在地：北海道札幌市南区定山溪国有地第 85 林班 3)

◇白馬山荘

白馬三山を背に梅池高原玄関口に位置する快適な所にあり、夏は避暑・合宿、冬はスキー等に利用できる。(所在地：長野県北安曇郡小谷村梅池高原親の原)

◇緑樹山荘

静かな自然環境の中で自炊、ランプ生活を体験することのできる山小屋である。

(所在地：福島県福島市李平字釜ヶ沢)

◇不知火センター松前会館

緑と岬と青い海がおりなす戸馳島にあり、熊本市より車で約 60 分のリゾートである。

(所在地：熊本市字城市戸馳 7 番地)

◇湘南クラブハウス

学生会活動・公認団体の課外活動・ゼミなどのための宿泊施設となっている。

(所在地：神奈川県平塚市真田 405)